

## 2020 (令和2) 年度 後期 食物栄養科・保育科 共通科目 (教養、外国語、保健体育、学際)

区分	科目名	到達目標		到達目標達成度						
				達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
教養	西洋音楽の世界	到達目標1	人生の中で音楽を楽しみ、国際社会においても活用しうる幅広い教養を身に付ける	57%	34%	9%	0%	0%	0%	
		到達目標2	西洋音楽史に関する基礎的な知識を身に付ける	66%	31%	3%	0%	0%	0%	
		到達目標3	作品を鑑賞し、自分の思いを文章やディスカッションで表すことができるようにする。	57%	34%	3%	6%	0%	0%	
	国際政治と子どもたち	到達目標1	国際政治における子どもたちという視点から、国際的な問題に関する基礎的な知識について学び、一般的な教養を深める。	92%	8%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	将来、子どもに関わる職業を目指す学生として、国際政治の中の絶対的弱者である子どもをめぐる現状について理解と関心を深める	85%	15%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標3	国際的な問題と日本、または私たちの日々の生活との関連性について理解し、当事者意識を養う	85%	15%	0%	0%	0%	0%	
	生命科学	到達目標1	ライフサイエンス (生命科学) の基礎的キーワードを理解する。	73%	27%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	生命現象のメカニズムについて理解する。	73%	27%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標3	生命の連続性・階層性・多様性を理解する。	73%	27%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標4	新聞・TV等のライフサイエンスの話題を理解することができる。	73%	27%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標5	自然科学的なものの見方と論理的なレポートの書き方を身につける。	64%	18%	18%	0%	0%	0%	
	環境と健康	到達目標1	人を取り巻く環境と健康の関わり、大気汚染や温暖化などの環境問題についての理解を深める。	82%	18%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	環境にやさしい生活、健康生活の重要性を理解し、環境や健康に配慮した生活のあり方を探る。	77%	23%	0%	0%	0%	0%	
	知的生活の探求	到達目標1	各自が生きる故郷・世界・時代について理解を広げる。	63%	35%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標2	1を通じて、各自の生活や将来への考察を深める。	70%	24%	6%	0%	0%	0%	
		到達目標3	専門科目を学ぶ基礎としての「教養」的あり方を養う。	62%	33%	5%	0%	0%	0%	
	情報科学	到達目標1	データサイエンスの概要を理解する。	60%	40%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	データサイエンスに基づいて簡単なデータ処理ができるようになる	40%	40%	20%	0%	0%	0%	
		到達目標3	データサイエンスによってつくられる近未来社会での生き方を考えられるようになる。	60%	40%	0%	0%	0%	0%	
	外国語	英語B	到達目標1	これまでの英語教育で学んだ基礎をもう一度確認し、使える英語、伝わる英語として発展させる。	66%	32%	2%	0%	0%	0%
			到達目標2	実際のコミュニケーションで役に立つ表現を身につける。	58%	37%	5%	0%	0%	0%
到達目標3			試験対策 TOEIC(英語によるコミュニケーション能力判定試験)などの英語試験の知識を深め、対応できる英語力を養う。	63%	35%	2%	0%	1%	0%	

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度						
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
社会生活と健康	公衆衛生学総論A	到達目標1	公衆衛生活動の基本であるプライマリヘルスケア（ヘルスプロモーション）を理解する。～人々が自らの健康をコントロールし、改善する事が出来るようにするプロセス～の大切さ	45%	34%	17%	3%	0%	0%
		到達目標2	それぞれの施策（県・保健所・市町村の事業）に応じた公衆衛生活動を学ぶ。（目的・手段・責任）など	45%	41%	14%	0%	0%	0%
		到達目標3	生活習慣病等の増加による疾病を学び、人々の生涯にわたる健康づくり（の大切さ）について学習する	59%	28%	14%	0%	0%	0%
	公衆衛生学総論B	到達目標1	公衆衛生活動の基本であるプライマリヘルスケア（ヘルスプロモーション）を理解する。～人々が自らの健康をコントロールし、改善する事が出来るようにするプロセス～の大切さ	36%	50%	14%	0%	0%	0%
		到達目標2	それぞれの施策（県・保健所・市町村の事業）に応じた公衆衛生活動を学ぶ。（目的・手段・責任）など	36%	57%	4%	4%	0%	0%
		到達目標3	生活習慣病等の増加による疾病を学び、人々の生涯にわたる健康づくり（の大切さ）について学習する	57%	36%	7%	0%	0%	0%
人体の構造と機能	栄養生理学	到達目標1	口は何故「食する」のかを理解し、「食生活」の向上に貢献するために必要な栄養素に関する基礎知識を取得する。	51%	40%	9%	0%	0%	0%
		到達目標2	食品の加工特性や成分変化に関する知識を習得し、加工品の製造を理解できる。	51%	39%	9%	2%	0%	0%
		到達目標3	三大栄養素に関する消化・吸収・代謝のメカニズムを、分子レベルで理解する。	39%	46%	9%	7%	0%	0%
		到達目標4	栄養摂取をヒトの体内での様々な化学反応としてとらえ、「食する」行為の根本的な意味を科学的に捉える。	46%	37%	12%	5%	0%	0%
		到達目標5	食や健康に関する情報が溢れる中で、栄養士として正しくかつ必要不可欠な情報を選択できる考え方を身につける。	42%	40%	14%	4%	0%	0%
	栄養生理学実験	到達目標1	初歩的な実験手技を習得し、主体的に実験操作に取り組むことができる。	67%	33%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	消化管の構造と働き、消化酵素について説明することができる。	41%	48%	11%	0%	0%	0%
		到達目標3	栄養素が体の機能に与える影響について説明することができる。	46%	43%	11%	0%	0%	0%
		到達目標4	実験結果や考察等をまとめ、適切なレポートを作成することができる。	52%	39%	7%	2%	0%	0%
	運動生理学(A)(B)	到達目標1	専門職として働く場に注目し、健康維持・増進の意味を正しく理解し、適切な助言と指導を行う能力を養う。	57%	36%	7%	0%	0%	0%
		到達目標2	運動・栄養・休養が健康維持・増進にかかわることについて理解する。	60%	36%	4%	0%	0%	0%
		到達目標3	日常の消費エネルギーの測定法を習得する。	57%	36%	7%	0%	0%	0%
		到達目標4	自分の身体組成を理解する。	63%	31%	4%	0%	0%	1%
		到達目標5	体力テストの方法とその結果・評価について習得する。	66%	28%	6%	0%	0%	0%
		到達目標6	健康を高めるための運動処方書の作成方法を習得する。	63%	33%	4%	0%	0%	0%
		到達目標7	健康維持・増進を目的とした栄養と協議スポーツの栄養との違いを理解する。	61%	31%	7%	0%	0%	0%
	生化学実験(A)	到達目標1	生化学実験に必要な基礎知識と試料、器具、試薬の正しい作り方・使い方、基本操作について理解する。	71%	26%	3%	0%	0%	0%
		到達目標2	動・植物組織を試料として、生体成分の分離法と分析方法を経験する。	60%	37%	3%	0%	0%	0%
		到達目標3	生体特有の物質である酵素の性質と機能について、代表的な酵素であるアミラーゼを通して理解する。	57%	37%	6%	0%	0%	0%
	生化学実験(B)	到達目標1	生化学実験に必要な基礎知識と試料、器具、試薬の正しい作り方・使い方、基本操作について理解する。	64%	30%	6%	0%	0%	0%
		到達目標2	動・植物組織を試料として、生体成分の分離法と分析方法を経験する。	55%	42%	3%	0%	0%	0%
		到達目標3	生体特有の物質である酵素の性質と機能について、代表的な酵素であるアミラーゼを通して理解する。	55%	42%	3%	0%	0%	0%

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度						
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
食品と衛生	食品学実験 (A)	到達目標1	実験に必要な基礎知識を習得し、実験器具の基本操作ができる。	45%	52%	3%	0%	0%	0%
		到達目標2	食品の化学的性質や成分変化について学習し、定性、定量分析が行える。	41%	41%	14%	0%	3%	0%
		到達目標3	食品の品質評価、物性の知識を習得し、鮮度判別や物性測定に興味を持てた。	59%	21%	14%	3%	3%	0%
	食品学実験 (B)	到達目標1	実験に必要な基礎知識を習得し、実験器具の基本操作ができる。	43%	57%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	食品の化学的性質や成分変化について学習し、定性、定量分析が行える。	50%	43%	7%	0%	0%	0%
		到達目標3	食品の品質評価、物性の知識を習得し、鮮度判別や物性測定に興味を持てた。	46%	50%	4%	0%	0%	0%
	食品学各論 (A)	到達目標1	食品の種類や取り扱いについて学び、各種食品の特徴を理解できる	48%	34%	17%	0%	0%	0%
		到達目標2	食品の加工特性や成分変化に関する知識を習得し、加工品の製造を理解できる。	38%	52%	10%	0%	0%	0%
		到達目標3	食品の規格や表示に関する知識を習得し、食品表示の記載事項を読み取ることができる。	41%	41%	17%	0%	0%	0%
	食品学各論 (B)	到達目標1	食品の種類や取り扱いについて学び、各種食品の特徴を理解できる	39%	57%	4%	0%	0%	0%
		到達目標2	食品の加工特性や成分変化に関する知識を習得し、加工品の製造を理解できる。	36%	57%	7%	0%	0%	0%
		到達目標3	食品の規格や表示に関する知識を習得し、食品表示の記載事項を読み取ることができる。	29%	61%	7%	4%	0%	0%
栄養と健康	栄養学各論 (A) (B)	到達目標1	専門職として働く場に注目し、食事・栄養管理の業務について理解を深める。	56%	32%	12%	0%	0%	0%
		到達目標2	発育・発達・加齢変化との栄養について理解する。	56%	35%	7%	2%	0%	0%
		到達目標3	各ライフステージの栄養士の特性および栄養アセスメントについて理解する。	49%	39%	11%	2%	0%	0%
		到達目標4	各環境下の多職種と栄養の関係について理解する。	53%	40%	5%	2%	0%	0%
	栄養学各論実習 (A)	到達目標1	専門職業にかかわる確かな実践力形成のためにライフステージ別の身体の構造や機能の変化に応じた適切な栄養摂取の在り方を理解し、その特徴・目標・問題点を説明できる。	63%	31%	6%	0%	0%	0%
		到達目標2	各ステージ(乳幼児、学童、中高年、高齢者、妊産婦・授乳婦)に適した献立を立てることができる。	60%	34%	6%	0%	0%	0%
		到達目標3	調理実習を通して食事形態・食分量・盛り付け方、季節感を学ぶことができる。	60%	34%	3%	0%	0%	3%
	栄養学各論実習 (B)	到達目標1	専門職業に関わる確かな実践力形成のためにライフステージ別の身体の構造や機能の変化に応じた適切な栄養摂取のあり方を理解し、その特徴・目標・問題点を説明できる。	69%	29%	3%	0%	0%	0%
		到達目標2	各ステージに適した献立を立てることができる。	60%	37%	3%	0%	0%	0%
		到達目標3	調理実習を通して食事形態・食分量・盛り付け方、季節感を学ぶことができる	66%	29%	3%	0%	0%	3%
		到達目標4	調理実習を通して構成員と連携して、作業工程に沿った質の高い食事を提供できる	57%	37%	6%	0%	0%	0%
	臨床栄養学総論	到達目標1	臨床現場における栄養士の役割と意義について説明することができる。	64%	32%	4%	0%	0%	0%
到達目標2		栄養アセスメント、栄養ケアプランの作成、栄養補給法の特徴について説明することができる。	57%	36%	7%	0%	0%	0%	
到達目標3		食事調査結果を踏まえて栄養指導案を作成し、プレゼンの形にまとめ、発表することができる。	61%	29%	9%	2%	0%	0%	

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
栄養の指導	栄養指導実習（A）	到達目標1 食事調査の方法を理解する	77%	23%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 個人別の食事摂取基準および食品構成の求め方を修得する	74%	26%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 栄養教育の目標設定および指導案の作成方法を修得する	71%	29%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4 指導対象およびテーマに応じた指導教材を作成する	77%	23%	0%	0%	0%	0%
		到達目標5 指導計画にそって栄養教育を展開し、効果的な指導の在り方を学ぶ	74%	26%	0%	0%	0%	0%
	栄養指導実習（B）	到達目標1 食事調査の方法を理解する	77%	23%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 個人別の食事摂取基準および食品構成の求め方を修得する	71%	29%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 栄養教育の目標設定および指導案の作成方法を修得する	74%	26%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4 指導対象およびテーマに応じた指導教材を作成する	74%	26%	0%	0%	0%	0%
		到達目標5 指導計画にそって栄養教育を展開し、効果的な指導の在り方を学ぶ	71%	29%	0%	0%	0%	0%
	公衆栄養学A	到達目標1 1日本人の食事摂取基準の沿革や概要・活用法を理解する	65%	15%	19%	0%	0%	0%
		到達目標2 国民健康・栄養調査の概要や調査結果がわかる	52%	32%	16%	0%	0%	0%
		到達目標3 我が国の健康・栄養行政の実際について理解する	58%	23%	19%	0%	0%	0%
	公衆栄養学B	到達目標1 1日本人の食事摂取基準の沿革や概要・活用法を理解する	43%	43%	9%	3%	3%	0%
		到達目標2 国民健康・栄養調査の概要や調査結果がわかる	40%	51%	6%	0%	3%	0%
到達目標3 我が国の健康・栄養行政の実際について理解する		40%	49%	6%	3%	3%	0%	
給食の運営	調理の基本Ⅱ	到達目標1 中国料理の特色や調理特性や食材の特徴を理解し、献立への応用力を身につける。	34%	55%	9%	2%	0%	0%
		到達目標2 栄養士として調理作業の処理能力を高め、実践力を習得する。	45%	43%	13%	0%	0%	0%
		到達目標3 一流料理人の洗練された技と知識を学び、料理技術を理解する。	46%	41%	11%	2%	0%	0%
		到達目標4 調理理論を裏づけし能力を的確に学習し応用・創作能力をも身に付ける。	35%	49%	13%	4%	0%	0%
	応用調理実習Ⅱ	到達目標1 栄養士として必要な調理技術の完成。	47%	39%	8%	2%	2%	3%
		到達目標2 現場に活かせる調理技術の応用力を身につける。	45%	39%	9%	2%	2%	3%
		到達目標3 食物アレルギーに対応する調理技術の習得。	48%	30%	14%	3%	2%	3%
		到達目標4 地場産物の知識習得とそれを利用した調理法の習得。	45%	39%	8%	3%	2%	3%
	給食運営実習Ⅰ(A)(B)	到達目標1 専門職として働く場でコンピュータを活用することに注目し、応用操作、処理できるようになる。	44%	48%	7%	0%	0%	0%
		到達目標2 ワードを使って帳簿が作成できる。	52%	39%	7%	2%	0%	0%
		到達目標3 エクセルを使って表作成と集計処理ができる。	52%	43%	4%	2%	0%	0%
		到達目標4 献立作成ソフトを使って栄養価が算出できる。	54%	39%	6%	2%	0%	0%
		到達目標5 ワードを使って栄養教育媒体が作成できる。	44%	48%	4%	4%	0%	0%
		到達目標6 パワーポイントを使って栄養指導教材が作成できる。	56%	39%	4%	0%	2%	0%
	発展科目	食品加工学実習	到達目標1 加工食品製造の流れや技術を学び、加工製品を完成できる。	84%	16%	0%	0%	0%
到達目標2 温度管理や発酵法、貯蔵法の知識は、加工食品への興味を深めることができる。			89%	11%	0%	0%	0%	0%
到達目標3 加工食品の包装形態や保存技術が理解できる。			74%	26%	0%	0%	0%	0%
到達目標4 食品原料や加工製品における、適切な品質評価ができる。			79%	21%	0%	0%	0%	0%

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
公衆衛生学	公衆衛生学総論	到達目標1 公衆衛生行政についての基礎を理解する。	35%	52%	4%	9%	0%	0%
		到達目標2 衛星統計について基本的な知識を習得する。	39%	52%	4%	4%	0%	0%
		到達目標3 公衆衛生の立場に立った疾病予防、対策を理解する。	39%	43%	9%	4%	0%	4%
食品学	食品学各論	到達目標1 食品の変質について理解する	52%	39%	4%	4%	0%	0%
		到達目標2 食品の保存方法を知る	65%	30%	0%	4%	0%	0%
		到達目標3 日本の食料自給率の推移と現状を理解する	57%	35%	4%	4%	0%	0%
		到達目標4 食品生産（有機農産物、遺伝子組み換え食品）について理解する	52%	35%	9%	4%	0%	0%
食品衛生学	食品衛生学各論 I	到達目標1 食品添加物の種類や使用および表示方法を理解する。	67%	33%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 食品添加物の和・洋菓子、製パンへの利用法を知る。	50%	50%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 菓子と食中毒について理解する	50%	50%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4 食品中の有害物質とその危険性を理解する	71%	25%	4%	0%	0%	0%
		到達目標5 食品による感染症や寄生虫症を理解する	79%	21%	0%	0%	0%	0%
		到達目標6 食品中の異物混入とその予防対策を理解する	58%	42%	0%	0%	0%	0%
		到達目標7 食品の安全性を自ら考え、実行するための基本を身につける	42%	46%	4%	8%	0%	0%
栄養学	栄養学各論	到達目標1 食事摂取基準の策定方針、対象者、指標の目的と種類を理解する	70%	30%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 国民健康・栄養調査の結果、食事調査、体組成測定をとおして食生活や身体活動について自身の問題点を知る	65%	35%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 ライフステージに関わる栄養の特徴について理解する	74%	26%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4 生活習慣病について疾患の予防や成り立ち、食生活との関連について理解する	57%	39%	4%	0%	0%	0%
		到達目標5 菓子類や清涼飲料水の特徴について理解する	83%	17%	0%	0%	0%	0%
		到達目標6 栄養成分表示について理解し、表示を活用する	65%	30%	0%	4%	0%	0%
製菓理論	製菓理論Ⅱ（製パン）	到達目標1 パンの基本的な製造工程を理解する。	75%	25%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 製パンに関わる発酵の科学について学ぶ。	75%	25%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 パンの歴史や変遷について理解する。	75%	25%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4 世界のパンについて知識を深める。	75%	25%	0%	0%	0%	0%
	製菓専門理論	到達目標1 洋菓子の歴史や変遷について理解する。	59%	36%	5%	0%	0%	0%
		到達目標2 洋菓子の原材料について知識を深める。	77%	23%	0%	0%	0%	0%
製菓実習	製菓基礎実習Ⅱ（製パン）	到達目標1 ソフト系パン製造の基本的な技術を習得することができましたか。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 ハード系パン製造の基本的な技術を習得することができましたか。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3 スイーツ系パン製造の基本的な技術を習得することができましたか。	85%	15%	0%	0%	0%	0%
	製菓専門実習Ⅰ（洋菓子）	到達目標1 様々な洋菓子の生地作りを学ぶ。	86%	14%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 洋菓子に関する高度な技術を学び、応用力を養う。	68%	27%	5%	0%	0%	0%
	製菓専門実習Ⅲ（和菓子）	到達目標1 和菓子の技術を高め、応用力を養う。	57%	43%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 四季折々の上生菓子について学習し、それらの製造技術を習得する。	74%	22%	0%	4%	0%	0%
	製菓特別実習Ⅰ	到達目標1 製菓・製パンの技術を高める。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2 様々な菓子を総合的に仕上げる力を養う。	95%	5%	0%	0%	0%	0%



## 2020（令和2）年度 後期 食物栄養科（パティシエコース）専門教育科目

区分	科目名	到達目標		到達目標達成度					
				達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
基礎科目	食事設計実習	到達目標1	望ましい日常食の構成要素や内容が考えられる	100%	0%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	食品成分表を使用することができる	100%	0%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	栄養価が算出でき、その結果を評価できる	100%	0%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4	一皿盛の料理構成を知る	100%	0%	0%	0%	0%	0%
発展科目	製菓特別実習Ⅱ	到達目標1	果樹を中心とした山梨県産農産物の理解を深める。	69%	25%	6%	0%	0%	0%
	スイーツショップ実習	到達目標1	業務用規模でスイーツを製造・販売する	88%	13%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	安心安全なスイーツをお客様に提供する	81%	19%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	店舗運営の一連の流れを身につけ、実践力を高める	81%	19%	0%	0%	0%	0%

## 2020（令和2）年度 後期 食物栄養科 両コース共通科目（学際・卒業要件）

区分	科目名	到達目標		到達目標達成度					
				達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
学際	食文化論	到達目標1	食文化の特徴、歴史を理解する。	64%	36%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	食文化形成のプロセスを理解する。	64%	18%	18%	0%	0%	0%
		到達目標3	西洋料理に使用される食材などの特徴を理解する。	64%	27%	9%	0%	0%	0%
		到達目標4	現代の食文化の変化を理解する。	73%	18%	9%	0%	0%	0%
卒業要件	社会人基礎力育成講座Ⅰ	到達目標1	山梨について理解を深める	54%	38%	6%	3%	0%	0%
		到達目標2	社会の規律や今日的課題を理解する	50%	43%	8%	0%	0%	0%
		到達目標3	ボランティア活動を通して、「地域貢献力」の向上を図る	—	—	—	—	—	—
		到達目標4	社会貢献の意義を知り、豊かな人間性を育成する	—	—	—	—	—	—
		到達目標5	自分のキャリアをデザインする	48%	45%	7%	0%	0%	0%
	社会人基礎力育成講座Ⅱ	到達目標1	山梨について理解を深める	53%	42%	5%	0%	0%	0%
		到達目標2	社会人としてのコミュニケーションスキルを養う	53%	42%	5%	0%	0%	0%
		到達目標3	社会の規律や今日的課題を理解する	51%	45%	3%	0%	0%	0%
		到達目標4	専門性を活かしたボランティア活動を通して、「地域貢献感」の向上を図る	—	—	—	—	—	—
		到達目標5	社会貢献の意義を知り、豊かな人間性を育成する豊かな人間性を育成する	—	—	—	—	—	—

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度						
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
教育・福祉の基礎理論	教育原理	到達目標1	教育の基本的概念、福祉の基本概念を身に付ける	67%	28%	5%	0%	0%	0%
		到達目標2	教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する	68%	26%	5%	0%	0%	0%
		到達目標3	教育に関する様々な思想と実際の教育及び学校との関わりを理解している	74%	21%	5%	0%	0%	0%
		到達目標4	教育に関する制度・課程・経営に関する基本的知識を身に付ける	64%	29%	7%	0%	0%	1%
	子ども家庭福祉	到達目標1	わが国の児童福祉法の成立過程を理解し説明することができる。	59%	31%	9%	0%	0%	1%
		到達目標2	児童福祉法の内容と児童虐待の実態と対応策について、理解を深め自ら説明できる。	62%	32%	6%	0%	0%	0%
		到達目標3	子ども家庭福祉の実施体制と法体系が関連付けて説明ができる。	57%	35%	7%	1%	0%	0%
	特別支援教育論	到達目標1	発達障害を含む特別の支援を必要とする児童の障害の特性及び心身の発達を理解する	69%	31%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	特別の支援を必要とする児童に対する教育課程を理解する	58%	42%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	特別の支援を必要とする児童に対する支援の方法を理解する	73%	27%	0%	0%	0%	0%
		到達目標4	障害はないが特別の教育的ニーズのある児童の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する	77%	23%	0%	0%	0%	0%
	教育・保育の計画・指導法	家庭科教育法	到達目標1	家庭科教育の意義、目標を理解する。	67%	27%	7%	0%	0%
到達目標2			家庭科の各学習領域の目標および内容について理解する。	53%	47%	0%	0%	0%	0%
到達目標3			家庭科の指導方法について理解し、教育実践力を身につける。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
到達目標4			教育評価のあり方とその方法を修得する。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
保育内容 身体表現		到達目標1	表現活動の意義とねらいについて理解し、指導実践を通して身体表現活動の理解深める。	65%	25%	5%	0%	0%	5%
		到達目標2	創作舞踊活動の実践を通して身体表現の方法について理解する。	63%	25%	7%	0%	0%	5%
		到達目標3	乳幼児の身体活動が、他の領域とのかかわりが深く総合的な活動であることを理解する。	63%	22%	8%	0%	0%	7%
インクルーシブ保育Ⅱ		到達目標1	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解している。	68%	27%	2%	0%	0%	2%
		到達目標2	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解している。	66%	30%	2%	0%	0%	2%
		到達目標3	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解している。	66%	29%	2%	0%	0%	2%
乳児保育Ⅰ		到達目標1	保育の計画と評価が保育内容の充実を図り、保育の質の向上に資することを理解し、その仕組みが説明できる。	71%	23%	4%	0%	0%	2%
		到達目標2	幼稚園、保育所、認定こども園といった各園の特性の違いや子どもの年齢・発達の状況や個人差などの理解に基づき、指導計画を作成することができる。	71%	22%	5%	0%	0%	2%
		到達目標3	具体的な指導計画の作成方法、またその実施および評価、そしてそれらを踏まえた改善の在り方やその実施方法について、自分の意見を表明することができる。	67%	27%	4%	0%	0%	2%
教育方法論 (幼稚園)		到達目標1	保育のねらいを達成するために必要な指導および援助方法の基本を理解する	62%	36%	2%	0%	0%	0%
		到達目標2	さまざまな保育形態の特質を把握し、「環境を通して」行われるそれぞれの保育実践に相応しいケースと方法の適切性を理解する	55%	40%	4%	1%	1%	0%
		到達目標3	子どもの発達と個別の姿を踏まえ、遊びとその援助について、方法の基礎を理解し実践的応用の仕方を提案することができる	56%	35%	8%	0%	1%	0%
		到達目標4	幼稚園におけるコンピューター利活用の実践について理解し、具体的な場面で活かすための実際例を提示することができる	41%	38%	17%	3%	1%	0%
子どもの食と栄養 (α・γ)		到達目標1	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的内容を説明できる	78%	17%	5%	0%	0%	0%
		到達目標2	子どもの発育・発達と食生活の関連について説明できる	72%	24%	3%	0%	0%	0%
		到達目標3	食育の基本とその内容及び食育のための環境、地域社会・文化との関わりについて説明できる	71%	24%	5%	0%	0%	0%
		到達目標4	家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明できる	74%	23%	3%	0%	0%	0%
		到達目標5	特別な配慮 (食物アレルギーの対応等) を要するこどもの食と栄養について説明できる	79%	14%	5%	2%	0%	0%
こどもの食と栄養 (β)		到達目標1	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的内容について説明することができる。	63%	31%	6%	0%	0%	0%
		到達目標2	子どもの発育・発達と食生活の関連について説明することができる。	54%	40%	6%	0%	0%	0%
	到達目標3	食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化との関わりについて説明することができる。	58%	33%	6%	0%	0%	2%	
	到達目標4	家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明することができる。	65%	33%	2%	0%	0%	0%	
	到達目標5	特別な配慮 (アレルギー対応など) を要するこどもの食と栄養について説明することができる。	56%	33%	10%	0%	0%	0%	

区分	科目名	到達目標	到達目標達成度							
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効		
教育実践演習	教職実践演習B	到達目標1	保育科における自己の学びを振り返り、身に付けた保育者としての知識・技術を説明することができる。	59%	35%	3%	0%	0%	3%	
		到達目標2	保育者として求められる判断力と倫理観がどのようなものを自己との関係で説明することができる。	50%	44%	3%	0%	0%	3%	
		到達目標3	自らの体験や収集した情報に基づき、保育の現状を分析し、その課題について具体的に説明することができる。	53%	38%	3%	0%	0%	6%	
		到達目標4	自己の保育観を確立し、保育者として成長していくために必要な課題を説明することができる。	53%	35%	3%	0%	0%	9%	
	教職実践演習D	到達目標1	教員はシラバスの内容に基づき、教科の目的・意義・位置づけについてわかりやすい説明をしましたか。	67%	27%	0%	0%	3%	3%	
		到達目標2	授業の進め方は、理解しやすいように工夫されていきましたか（教科書、資料、視聴覚機器など）。	73%	18%	3%	0%	3%	3%	
		到達目標3	専門的な内容について、学生の反応や理解度を確認しながらわかりやすい説明がありましたか。	64%	27%	3%	0%	3%	3%	
	教職実践演習F	到達目標1	教員はシラバスの内容に基づき、教科の目的・意義・位置づけについてわかりやすい説明をしましたか。	81%	14%	0%	0%	0%	5%	
		到達目標2	授業の進め方は、理解しやすいように工夫されていきましたか（教科書、資料、視聴覚機器など）。	90%	5%	0%	0%	0%	5%	
		到達目標3	専門的な内容について、学生の反応や理解度を確認しながらわかりやすい説明がありましたか。	90%	5%	0%	0%	0%	5%	
	教育・福祉の相談・援助	子ども家庭支援の心理学	到達目標1	子ども発達医について基本的な知識を学び、体系的に説明することができる。	60%	31%	8%	1%	0%	0%
			到達目標2	家族・家庭の意義と機能が説明することができる。	61%	31%	7%	1%	0%	0%
到達目標3			家族関係における構成員の年齢の変化とともに生ずる課題を理解し説明することができる。	58%	34%	8%	1%	0%	1%	
到達目標4			現代社会における子育て家庭の課題を整理し説明することができる。	59%	34%	6%	1%	0%	0%	
子育て支援演習		到達目標1	地域の子育て支援の現状と課題を知る。	75%	25%	0%	0%	0%	0%	
		到達目標2	子育て支援の理念、方法について学ぶ。	70%	27%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標3	子育て支援における保育者の役割について学ぶ。	80%	20%	0%	0%	0%	0%	
子育て支援の理論と方法		到達目標1	頼関係に基づく子育て支援の特性・相談支援の意義と原則について理解している	79%	20%	1%	0%	0%	1%	
		到達目標2	育士の行う子育て支援の展開について、状況把握・支援計画立案・実践・記録・評価のプロセス、職員間の連携、自治体・関係機関等との連携の重要性を理解している	76%	21%	1%	1%	0%	1%	
		到達目標3	相談支援の内容・方法・技術を理解している	77%	21%	1%	0%	0%	1%	
		到達目標4	相談支援の実際について学び、事例への対応方法を提案することができる	69%	28%	2%	0%	0%	1%	



区分	科目名	到達目標	到達目標達成度							
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効		
教科・基礎技能	算数	到達目標1	教員はシラバスの内容に基づき、教科の目的・意義・位置づけについてわかりやすい説明をしましたか。	87%	10%	0%	0%	0%	3%	
		到達目標2	授業の進め方は、理解しやすいように工夫されていませんか（教科書、資料、板書、視聴覚機器など）。	80%	17%	0%	0%	0%	3%	
		到達目標3	専門的な内容について、学生の反応や理解度を確認しながらわかりやすい説明がありましたか。	83%	10%	3%	0%	0%	3%	
	生活	到達目標1	園や学校、家庭や地域での生活など、子どもと関わりの深い身近な生活についての理解を深める。	80%	17%	3%	1%	0%	0%	
		到達目標2	子どもと自然の関わり、子どもの科学遊びなど、子どもの活動を自然科学的な観点から捉えることができる。	78%	17%	4%	0%	1%	0%	
	体育	到達目標1	体育の教養を深め、基礎理論を理解する。	74%	19%	4%	2%	0%	1%	
		到達目標2	実際の動きを通して、基礎運動能力を習得する。	75%	19%	4%	1%	1%	0%	
		到達目標3	様々な環境での運動理解を深める。	71%	21%	5%	1%	1%	0%	
		到達目標4	特殊な子どもの体育活動や運動指導の理解を深める。	66%	20%	5%	1%	1%	6%	
	子どもと人間関係	到達目標1	乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解している。	80%	18%	3%	0%	0%	0%	
		到達目標2	乳幼児の人間関係の育ちを豊かにすることの重要性を理解し、そのために必要な援助を行うことができる。	75%	23%	3%	0%	0%	0%	
		到達目標3	教材や環境構成などの技術を用いて、幼児期の人と関わる力を育てるために必要な援助を行うことができる。	76%	20%	3%	0%	0%	1%	
	子どもと環境	到達目標1	子どもをとり巻く環境の現状と課題について理解する。	80%	17%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標2	身近な自然との関わり、科学遊びのすすめ方、動植物の世話の仕方について理解する。	80%	18%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標3	生活に身近な文字や数字との関わり方、日本独自の伝統や文化の概要について理解する。	76%	21%	2%	1%	0%	0%	
	子どもと表現	到達目標1	「表現の源（始まり）を、子どもの成長の観点で考察し理解する。」を達成できましたか。	57%	37%	5%	0%	1%	1%	
		到達目標2	「生活の中における表現のプロセスを、様々な表現の連続（連鎖）として考察し理解する。」を達成できましたか。	59%	33%	7%	1%	0%	1%	
		到達目標3	「表現行為（表現活動）を、五領域における各領域との関係において考察し、表現の意味と役割を理解する。」を達成できましたか。	60%	35%	4%	1%	1%	1%	
		到達目標4	「表現活動の役割と総合性を理解する。」を達成できましたか。	55%	38%	5%	1%	0%	1%	
	実習	小学校教育実習指導	到達目標1	小学校教育実習の意義、目的、内容、方法を理解する	91%	5%	0%	0%	0%	5%
			到達目標2	実習に求められる心構えを理解し、実習課題を明確化する	91%	5%	0%	0%	0%	5%
到達目標3			実習記録の意義・方法を理解する	91%	5%	0%	0%	0%	5%	
到達目標4			実習校を理解する	91%	5%	0%	0%	0%	5%	
到達目標5			実習をもとに、新たな学習課題を明確化する	91%	5%	0%	0%	0%	5%	
幼稚園教育実習指導		到達目標1	実習の意義と目的を理解し幼稚園について総合的に理解している	191%	48%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標2	実習の内容を理解し、自らの課題を明確にしている	193%	45%	4%	0%	0%	0%	
		到達目標3	大学での学びを総合し、保育の実践力を習得している	184%	55%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標4	保育者の専門性と職業倫理について理解している	179%	61%	2%	0%	0%	0%	
		到達目標5	実習の総括と自己評価をもとに、新たな課題や学習目標を明確にしている	188%	48%	4%	0%	2%	0%	
幼稚園教育実習指導 I		到達目標1	実習の意義・目標および心得を理解する	196%	84%	11%	2%	0%	2%	
		到達目標2	実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。	198%	84%	11%	2%	0%	0%	
		到達目標3	実習施設の特性や人権、守秘義務等を理解する。	204%	82%	7%	2%	0%	0%	
		到達目標4	実習の計画、実践、観察、評価の方法や内容について理解する。	209%	77%	9%	0%	0%	0%	
		到達目標5	実習の総括と自己評価をもとに、新たな課題や学習目標を明確にする。	213%	75%	7%	0%	0%	0%	

区分	科目名	到達目標		到達目標達成度					
				達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
実習	保育実習指導Ⅰ (保育所)	到達目標1	実習の意義・目標および心得を理解する。	196%	84%	11%	2%	0%	2%
		到達目標2	実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。	198%	84%	11%	2%	0%	0%
		到達目標3	実習施設の特性や人権、守秘義務等を理解する。	204%	82%	7%	2%	0%	0%
		到達目標4	実習の計画、実践、観察、評価の方法や内容について理解する。	209%	77%	9%	0%	0%	0%
		到達目標5	実習の総括と自己評価をもとに、新たな課題や学習目標を明確にする。	213%	75%	7%	0%	0%	0%
	保育実習指導Ⅰ (施設)	到達目標1	保育実習の意義・目的を理解し、実習全体を説明できる。	145%	73%	2%	0%	0%	0%
		到達目標2	施設入所に至る経緯を理解し、子どもの人権や最善の利益を考慮する重要性が説明ができる。	154%	64%	2%	0%	0%	0%
		到達目標3	施設における保育士の職業倫理について理解し身につける。	155%	63%	2%	0%	0%	0%
		到達目標4	実習後の振り返りで保育士としての自らの課題を整理し改善策が説明できる。	155%	63%	2%	0%	0%	0%
	保育実習指導Ⅱ	到達目標1	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解している	148%	36%	4%	0%	0%	0%
		到達目標2	実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得している	141%	48%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解している	129%	59%	2%	0%	0%	0%
		到達目標4	保育士の専門性と職業倫理について理解している	136%	52%	2%	0%	0%	0%
		到達目標5	実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、対する課題や認識を明確に保育に説明することができる	136%	48%	4%	0%	2%	0%
	保育実習指導Ⅲ	到達目標1	この教科の到達目標1（入所児（者）の生活を体系的に捉え、養護、障害技術について具体的に理解する。	11%	2%	0%	0%	0%	0%
		到達目標2	入所児（者）の個人差について、保育士としての対応の仕方を理解する。	11%	7%	0%	0%	0%	0%
		到達目標3	入所児（者）の家族とのコミュニケーションや地域社会との連携方法について、具体的に理解する。	11%	7%	0%	0%	0%	0%
到達目標4		施設保育士に求められる資質、用語技術、職業倫理等を理解し保育士としての責任を自覚するとともに今後の課題を確認する。	11%	5%	2%	0%	0%	0%	
卒業要件	社会人基礎力育成講座Ⅰ	到達目標1	山梨について理解を深める	59%	32%	7%	1%	1%	0%
		到達目標2	社会の規律や今日的課題を理解する	61%	30%	7%	2%	1%	0%
		到達目標3	ボランティア活動を通して、「地域貢献力」の向上を図る	—	—	—	—	—	—
		到達目標4	社会貢献の意義を知り、豊かな人間性を育成する	—	—	—	—	—	—
		到達目標5	自分のキャリアをデザインする	63%	29%	6%	1%	1%	0%
	社会人基礎力育成講座Ⅱ	到達目標1	山梨について理解を深める	69%	29%	2%	1%	0%	0%
		到達目標2	社会人としてのコミュニケーションスキルを養う	67%	30%	3%	1%	0%	0%
		到達目標3	社会の規律や今日的課題を理解する	75%	24%	2%	0%	0%	0%
		到達目標4	専門性を活かしたボランティア活動を通して、「地域貢献感」の向上を図る	—	—	—	—	—	—
		到達目標5	社会貢献の意義を知り、豊かな人間性を育成する豊かな人間性を育成する	—	—	—	—	—	—